

財務局長挨拶

【 第2回北陸地域連携プラットフォーム 平成26年4月8日(火) 】

本日は何かと御多忙の中、第2回の北陸地域連携プラットフォームに御出席をいただきまして誠にありがとうございます。

開会に当たり、一言御挨拶申し上げます。

皆様御承知のとおり、当プラットフォームは、年明けとともに立ち上げまして、まずは、北陸にとっての最重要かつ喫緊の課題として「人口減少・少子高齢化」について取り組んでいるところであります。

そうしたところ、政府におきましても経済財政諮問会議の下に「選択する未来」委員会を設置いたしまして、人口減少・少子高齢化問題等について、本格的な取り組みを始めたところです。その一端を御紹介いたします。お手元に配付の『「選択する未来」委員会の検討項目』を御覧ください。

まず、基本的な考え方・認識ですが、

将来の日本を考えると、現状が続けば、人口減少と高齢化が進み、日本経済は縮小し、国力も低下していく可能性が高いことから、このような未来像を変えるための議論を行うということでもあります。

そして、具体には、3つのワーキング・グループを立ち上げて、

「中長期的な経済成長と発展」ということで、日本の発展メカニズムをどうしていくのかということ、

また、「人の活躍」ということで、人材の育成や確保など長寿高齢社会の実現のために、人の活躍の場をどういうふうに創っていくかということ、

更には、「地域の未来」ということで、こうした中で地域の未来をどう創っていくかということ、についてそれぞれ検討し、年末に向けて集約していくという予定になっております。

既に、4回の委員会開催を経て、ワーキング・グループも動き出しております。

漸くではありますが、政府においてもこのような動きが出てきたことは、歓迎すべきことであり、心強いことでもあります。

さて、本日は、お忙しいところ厚生労働省政策統括官付 社会保障担当参事官室の鈴木補佐にお越しいただき、「人口減少、少子高齢化の現状と課題」についてお話しいただきます。

今回のテーマは、まさに将来の日本、そして北陸を考えるに当たってのベースとなるものであります。限られた時間ではあります、御講演とその後の意見交換が有意義なものとなりますことを期待いたしております。

最後になりますが、「北陸地域連携プラットフォーム」におきましては、「選択する未来」委員会の検討をはじめ、政府における各種議論の結果等も参考にしながら、北陸地域における未来の選択に資する議論を深めていただきまして、それらを手掛かりにして、地域の皆様お一人お一人に、先ずは、現状のままでいった場合の50年後の北陸に対する危機感を共有し、そこから見えてくる課題をも共有する。

そうした上で、お一人お一人が幸せを実感できる地域の未来を積極的に選択していく、そして未来に向かって自ら働きかけていく、そういう連鎖とそれぞれの地域における議論の広がりを期待しているところであります。

簡単ではあります、これをもって開催に当たっての挨拶とさせていただきます。

以上